

発言 読者とともに

NPO会員 萩原 一夫 76

(横浜市泉区)

今年のノーベル平和賞に、日本
原水爆被害者団体協議会(被団
協)が選ばれたことは、心からう
れしいニュースであった。

実は、2015年10月9日の本
紙発言欄に「核廃絶運動にノーベ
ル賞を」という見出しで私の投稿
が掲載されたことがある。その中
で「日本の被爆者団体が、地道に
続けてきた核廃絶への運動の労苦

核禁条約に参加すべき

が評価されることを強く期待した
い」と書いている。

待ちに待った今回のノーベル平
和賞。まさに被爆者の方々の労苦
への評価であるとともに、唯一の
被爆国である日本が「核兵器廃絶
の先頭に立て」というメッセージ
であると受け止めたい。政府は、
核兵器禁止条約の批准に向けて、
まずは締約国会議へのオブザーバ
ー参加から決断してほしいと思
う。